

# 第3期中期目標期間における重点的取組 **【戦略5】**

## 第3期中期目標期間における重点的取組に係るビジョン

徳島大学は、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを使命としている。第3期中期目標期間においては、「徳島の地（知）の拠点」として、地方創生及びグローバル化の視点から、産業界や行政さらには住民の期待に応え、地域振興の核となる「人材」教育や研究など、地域貢献に重点をおいた取組みを進めるとともに、本学の強みや特色のある分野では、我が国（あるいは世界）をリードする教育研究を重点的に推進することとし、資源の再配分による全学的な組織改革を基軸として、教育研究機能の強化を図る。

地域のニーズを踏まえた人材育成については、医歯薬学部に加えて、新たに設置した生物資源産学学部や理工学部における分野連携教育によりイノベーションの創出ができる人材、並びに世界で活躍するグローバルリーダー及びグローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材を育成するとともに、大学院の新設・改組等による高度専門職業人を養成する。

また、本学の「理工系」、「生命系」の強みを活かし、特色である「酵素」、「LED」、「生物資源」領域などにおいて、先端酵素学研究所やポストLEDフォトリソグラフィ研究所の創設などによる研究拠点の形成や医歯薬学研究所、社会産業理工学研究部を中心に異分野融合型の最先端の特色ある研究の強化を図る。また、大学発イノベーションの創出による大学発ベンチャー企業の設定等により、大学の収益を上げる。

さらに、これら教育研究機能の充実強化を通じ、地域自治体や産業界等との連携を深めるとともに、徳島県が挙県一致で取り組む「V S東京『とくしま帰帰』総合戦略」の主要プレイヤーとして、「県内若者の地元定着」や「雇用の創出」などに大きな役割を果たし、徳島の地方創生に貢献する。

### 戦略5: 各種ファンドの設置、大学発のベンチャー企業の設立支援・育成支援による外部資金の戦略的獲得

- 【評価指標】
- ▶ 大学発ベンチャー企業の企業数
  - ▶ 新たな戦略的基金の寄附金獲得金額
  - ▶ 共同研究受入金額
  - ▶ クラウドファンディング成功数

**取組10** 各種ファンドを設置・運用し、既存の大学発ベンチャー企業の育成及び新規設立を支援

- ▶ 専門スタッフの配置など寄附金獲得に向けた学内体制を整備
- ▶ クラウドファンディングをはじめ、各種ファンドの設置・運用
- ▶ 大学発イノベーションの創出による大学発ベンチャー企業の設立・育成を支援
- ▶ 大学発SBIR制度の確立と地域イノベーション創出基盤の構築

